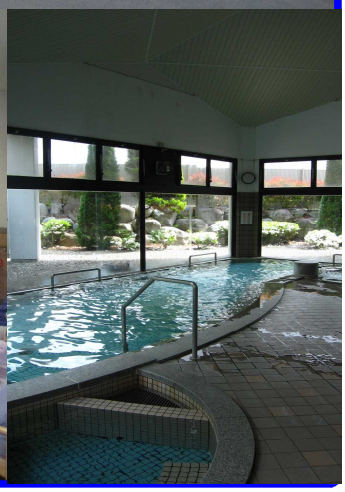
平成25年度

社協の福祉活動

平成２５年度の主要事業の実績を報告します。



社会福祉法人

昭和村社会福祉協議会

目　次

１　社会福祉協議会の概要

■　社会福祉協議会とは？　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
■　昭和村社会福祉協議会　基本理念　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
■　社協の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

２　社協と村との協働関係

■　村からの受託事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
■　村からの補助事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
■　村からの指定管理者事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

３　収入・支出の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

４　法人運営部門

■　理事会・評議員会・監事会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
■　正副会長会議　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
■　委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
■　社協だより発行　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

５　地域福祉部門

■　善意銀行　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
■　共同募金会事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
■　敬老福祉大会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
■　敬老慰問　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
■　高齢者ふれあい交流会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
■　日常生活自立支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
■　障害者施設との連携　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
■　一人親支援活動事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
■　子育て支援施設等の運営支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
■　福祉協力校への助成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
■　法外援護費の支給事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
■　自動販売機の設置運営事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
■　火災見舞品の贈呈事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
■　福祉まつりの開催　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
■　ふれあいいきいきサロン活動の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

目　次

■　ボランティア活動の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
■　各種団体の活動支援並びに助成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
■　福祉育成援助活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
■　低所得者世帯への生活指導並びに資金援助　・・・・・・・・・・・・・・　１８
■　見守りネットワークの推進事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１８

６　学童保育部門

■　学童クラブの運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９

７　福祉センター昭和の湯部門

■　昭和の湯の運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
■　温泉でリフレッシュ事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１

８　介護保険部門

■　居宅介護支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
■　訪問介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
■　通所介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２７
■　訪問入浴介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２９

９　障がい者福祉サービス部門

■　居宅介護事業及び重度訪問介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
■　移動支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０

10　在宅福祉サービス部門

■　介護者の集いの開催　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
■　おむつ給付事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
■　介護用品支給事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
■　食の生活自立支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
■　福祉用具･福祉車両の貸出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
■　緊急通報装置設置支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
■　寝具洗濯乾燥消毒サービス事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
■　生活支援型訪問家事援助事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
■　地域支援介護予防通所事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
■　ケア輸送サービス　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３

1　昭和村社会福祉協議会の概要

はじめに　～社会福祉協議会とは？～

■　どんな仕事をしているの？

社協は・・・

１　福祉のむらづくり

各市町村ごとに設置され、地域の人々が抱えているさまざまな福祉課題を地域全体の問題としてとらえ、皆で支えあい・学びあい「誰もが安心して暮らせる、人にやさしい福祉のむらづくり」をすすめます。

２　共に考え活動

地域のみなさん、ボランティアや福祉ＮＰＯ、民生委員児童委員、保健・医療・教育などの関係機関
社会福祉施設や関係団体、行政機関などの参加協力を得ながら共に考え活動をすすめます。

３　民間非営利の福祉団体

自主性と公共性という２つの側面を合わせもった民間非営利の社会福祉団体です。

４　地域福祉の中核機関

社会福祉法にも「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として規定され、地域福祉の中核機関として位置付けられています。

昭和村社会福祉協議会　基本理念

昭和村社会福祉協議会では、使命である地域福祉を推進するために、全役職員が共通認識を持つとともに地域住民に社会福祉協議会に対する理解を深めていただくことを目的に基本理念を制定しています。

私たちは、地域福祉を推進するために、地域の皆さんや関係機関と協力しあい、「誰もが幸せに」暮らせる福祉の村づくりを目指します。

社協の組織

平成２５年度の本会の会員及び組織の概要は、次のとおりです。

（平成２５年度末現在）

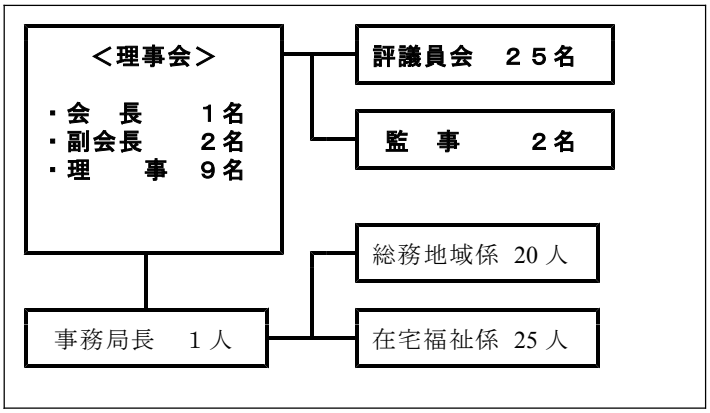
１　会員の状況

本会を支えてくださっている会員及び会費は、次のとおりです。

項　目	会　　費	会　員　数	納　　入　　額
一般会費	１，０００円	１，９３３世帯	１，８８６，０００円
特別会費	１万円 or ５千円	３６名＋１５団体	２６５，０００円
賛助会費	１万円 or ５千円	１３名	７０，０００円
合計	―	１，９９７会員	２，２２１，０００円

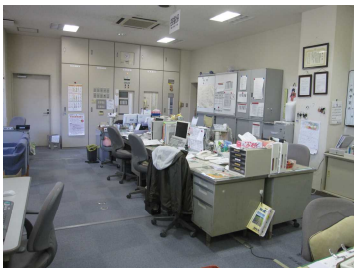
注：納入額には、１人複数口及びダブルカウント調整があります。

２　組織等



３　事務局

職　種	形　　態	職員数
総務地域係	係長	１人
	正規職員	２人
	嘱託職員	１人
	臨時雇用職員	１１人
	非常勤雇用職員	５人
在宅福祉係	係長	１人
	正規職員	８人
	嘱託職員	２人
	臨時雇用職員	１１人
	非常勤雇用職員	４人
計		４６人



注：在宅福祉係長は、事務局長が兼務

２ 社協と村との協働関係

村からの受託事業　　１０事業　１，０２７万円

本会では、次の事業を昭和村から委託を受けて行いました。

事　業　名	受託額	付　記
◆福祉団体支援事業業務	4,200,000 円	・団体事務人件費
◆生活支援型訪問家事援助事業	64,480 円	・３１回
◆地域支援事業介護予防ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	1,507,700 円	・２９３人。講師派遣６回
◆食の生活自立支援事業	1,100,800 円	・１，３７６食
◆家族介護教室･交流事業	150,000 円	・外出事業１回、教室事業１回
◆介護用品支給事業	1,321,084 円	・介護用品支給、事務費
◆一人暮らし高齢者交流事業	500,500 円	・交流　人、温泉保養　人
◆介護予防ｻｰﾋﾞｽ計画策定事業	1,078,720 円	・２５６人
◆移動支援業務事業	45,990 円	・６人、６３回
◆地域支援事業ケア輸送ｻｰﾋﾞｽ助成	302,400 円	・１３６回
計	10,271,674 円	

社協と村とで築く福祉の村

昭和村社会福祉協議会

昭和村役場

村からの補助事業　　２事業　７４万円

村からの補助を受けて、次の事業を行いました。

事　業　名	補助額	付　記
◆地域福祉活動推進事業	770,000 円	①ボランティア協議会への助成金 ＊１８万円 ②ふれあい・いきいきサロンへの助成 ＊　３３万円（２８サロン） ③ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ協議会事務局経費 ④ふれあい・いきいきサロン事務局経費
◆認知症高齢者等福祉ｻｰﾋﾞｽ利用支援	1,500 円	・125 円× 12 が月 ＊該当者　１人
計	741,500 円	

村からの指定管理事業　　４事業　１億２，１６８万円

村から指定管理者の指定を受けて、次の４施設の運営を行いました。

期間　平成２４年４月１日～平成２７年３月３１日

事　業　名	収入額	付　記
◆福祉センター「昭和の湯」の運営	32,991,781 円	①利用料金等収入
◆デイサービスセンター「昭和の里」運営事業	60,286,262 円	①介護報酬収入、利用料収入等
◆昭和村学童クラブの運営事業	26,745,300 円	①村からの協定額　14,531,500 円 ②事業収入　12,213,800 円
◆昭和村ふれあい館運営事業	1,655,200 円	①村からの協定額　1,507,700 円 ②食費分　147,500 円
計	121,678,543 円	

付記：各事業の実績状況は、別途記載しています。

3　収入・支出の概要　　収支差額　－583万円

平成25年度（一般会計）

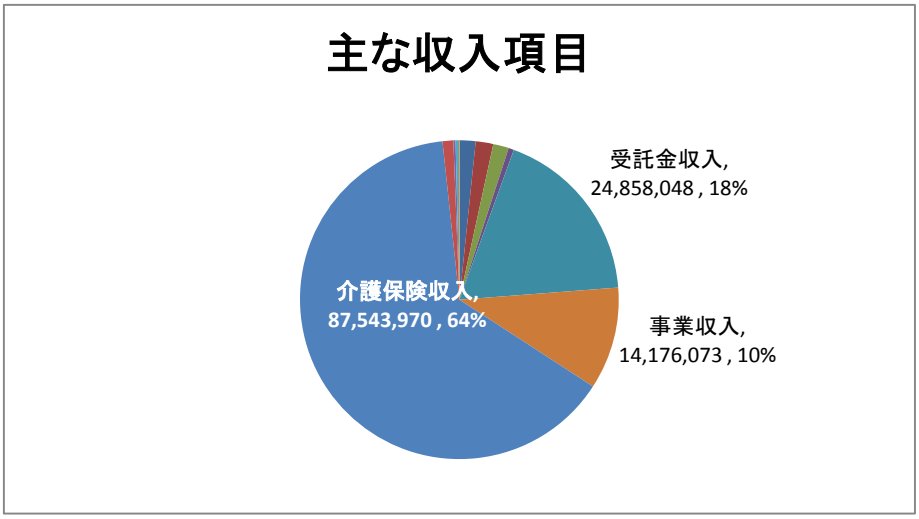
収入

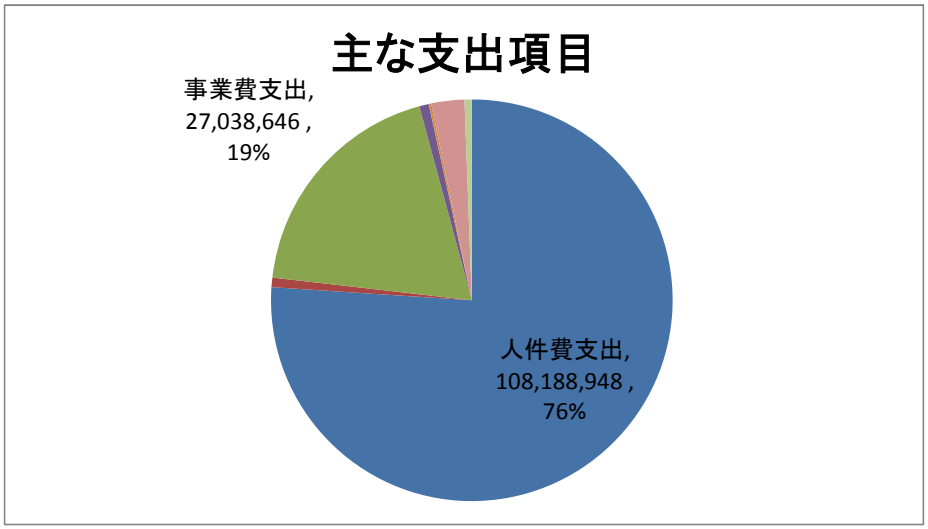
会費収入	2,221,000
寄附金収入	2,469,146
共同募金配分金収入	2,133,178
補助金収入	771,500
受託金収入	24,858,048
事業収入	14,176,073
介護保険収入	87,543,970
自立支援費収入	1,502,120
負担金収入	0
雑収入	293,520
受取利息配当金収入	516,387
その他	0
収入合計	136,484,942

支出

人件費支出	108,188,948
事務費支出	1,115,250
事業費支出	27,038,646
助成金支出	1,073,500
負担金支出	29,200
固定資産取得支出	273,000
福祉基金積立	0
退職共済預け金支出	3,760,920
その他	831,609
支出合計	142,311,073

収入合計	136,484,942
支出合計	142,311,073
収支差額	**−5,826,131**





４ 法人運営部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「地域に親しまれる団体として適正で開かれた法人の運営を組織的に行います。」

理事会・評議員会・監事会

法人の適正な運営のため、理事会・評議員会・監事会を開催しました。

１　理事会

理事会は、法人の業務の決定機関であり、事業報告や収支決算、事業計画、収支予算、規定の改廃、その他重要事項について協議します。また、日常の業務については会長の専決事項になっていました。

理事会開催状況　5/29　12/25　2/07　3/28

２　評議員会

評議員会では、業務や財産状況、役員の業務執行状況の確認や重要事項について協議しました。

評議員会開催状況　5/29　12/25　3/28

３　監事会

監事会では、業務の執行状況や財産の状況について監査しました。

監事会開催状況　5/24　11/29

正副会長会議

正副会長会議は、正副会長及び管理職員が出席し、事業収入の増加と経費削減の徹底についての検証や事業効率化の推進とう検討しました。

正副会長会議開催状況　　年 12 回（1 ヶ月に 1 回））

委員会

社会福祉協議会の専門的な事項について会長の諮問に答えるため委員会が設置されています。

１　総務地域委員会

善意銀行を除く総務地域係所管業務に関する事項の審議を行いました。

開催状況　　5/08（在宅福祉委員会との合同会議）　3/19

２　在宅福祉委員会

在宅福祉係所管業務に関する審議を行いました。

開催状況　　5/08（総務地域委員会との合同会議）　3/19

社協だより発行　　年３回　各２，３００部発行

（事業区分：本会の独自事業）

社協事業の周知を図るため、
「社協だより」を年３回発行しました。

- ■　６月２５日号（第６５号）
- ■　９月２５日号（第６６号）
- ■　２月２５日号（第６７号）

５　地域福祉部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「地域住民主体による地域福祉を推進するために、地域の皆さんの参加・協力によるたすけあい、支え愛の福祉活動を展開します。」

善意銀行（寄付金）　２６件　２４７万円

（事業区分：本会独自の事業）

「福祉に役立てて欲しい」と、多くの個人 、団体から寄附金品をいただいております。寄附金は、昭和村善意銀行運営委員会により使い道を決定しています。

【２５年度の善意】

昭和村森隆（故森優）	1,000,000 円
昭和村ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ協議会（福祉バザー）	348,879 円
昭和村老人クラブ連合会（一円玉募金）	143,104 円
昭和村ゴルフクラブ連合会	150,000 円
昭和村匿名希望者	100,000 円
昭和村舞踏協会	120,417 円
その他　２０件	
計　２６件	2,469,146 円

※敬称略

たくさんの善意 ありがとうございます。

【主な使い道】

・ふれあいいきいきサロン助成金	３３０，０００円
・子育支援施設等助成金	１００，０００円
・福祉協力校助成金	１３０，０００円
・障がい者等職業訓練協力事業	１２１，８００円
・ボランティア協議会助成金	１８０，０００円
・沼田市認知症ネットワーク負担金	９，２００円

共同募金会事業（赤い羽根募金、歳末助け合い募金）　１８９万円

（事業区分：本会の独自事業）

共同募金会昭和村支会の事務局として、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金受付を実施しました。

集められた募金は、県内の各福祉施設や福祉団体に配分されます。

本会では、次表のような事業を行っています。

【募金実績実績】

赤い羽根募金		歳末助け合い募金	
１，１５２，６９３円		１，６５７，５３６円	
募金内内容	①戸別募金　966,500 円	募金内内容	①戸別募金　965,500 円
	②学校募金　36,494 円		②法人募金　612,747 円
	③イベント募金　60,429 円		③職域募金　65,268 円
	④職域募金　81,918 円		④その他の募金　14,021 円
	④その他の募金　7,352 円		

【配分金事業実績】

赤い羽根募金		歳末助け合い募金	
７４２，５３７円		１，３９０，６４１円	
主な事業	①オムツ給付　155,337 円	主な事業	①出産祝い金品　735,000 円
	②広報紙の発行　330,000 円		②年始特別配食　75,000 円
	③高齢者敬老慰問　78,000 円		③オムツ給付　145,641 円
	④配食サービス　118,000 円		④障がい子育施設　300,000 円

敬老福祉大会の開催（村との共同）　　表彰　２１名（団体）

（事業区分：本会の独自事業）

多年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛し長寿を祝うともに、地域の社会福祉の向上に功績のあった個人・団体を表彰るため、福祉大会を開催しています。
昭和村の敬老会といっしょに行っています。

＊　６月３日開催
＊　表彰状（感謝状）の贈呈　２１名(団体)　（前年度８名）
＊　敬老会　　・ダイヤモンド婚　１４組（前年度　１３組）
　　・金婚　　２６組（前年度　２２組）
　　・傘寿　　７４名（前年度　９９名）

敬老慰問（村との共同）　　慰問　２６名

（事業区分：本会の独自事業）

９５歳以上の在宅高齢者を昭和村と共に慰問しました。

◆　３，６００円分相当の「昭和の湯回数券」を贈呈。
＊　平成２３年９月１６日
＊　２６名（前年度　３０名）
＊　社協慰問者　会長、副会長　村長等

高齢者ふれあい交流会　　参加　１０２名

（事業区分：昭和村からの受託事業）

村内の一人暮らし高齢者等を対象に、心身のリフレッシュや交流を図りました。

■日帰り交流事業　２回　延べ　７４名
　（前年度　２回　７５名）
■宿泊交流事業　１回　参加者　２８名
　（前年度　１回　２８名）

日常生活自立支援事業

（事業区分：群馬県社協からの受託事業）

判断能力が低下している高齢者等の自立支援のため、通帳や印鑑等を保管しました。

３月末現在利用者数　１名　（前年度　１名）

障害者施設との連携・助成　　３団体　３０万円

（事業区分：本会の独自事業）

村内の施設と各種助成事業について、連絡周知等を行いました。　また、各施設の活動に対し、助成を行いました。

■たけのこ学園
■くりのみ学園　　各１０万円（前年度同額）
■星夜の森学舎

障がい者職業訓練協力事業

（事業区分：本会の独自事業）

本会業務の一部を、村内の障害者施設へ提供しました。

実施回数　１５回
延べ訓練者数　４５名

一人親支援活動事業　　減免額　９１万円

（事業区分：本会の独自事業）

一人親家庭の学童クラブ保育料の減免を行っています。

【学童クラブ保育料減免】

◆延べ児童数　　４４０名　（前年度　３３１名）
◆減免額　　９０７，４００円　（前年度　６５４，８００円）

子育て支援施設等の運営支援　　助成額　１０万円

（事業区分：本会の独自事業）

管内の子育て施設等に対して運営支援及び助成を行いました。

助成額　　子育保育園　１００，０００円　（前年度同額）

福祉協力校への助成　　助成額　１３万円

（事業区分：本会の独自事業）

村内の小学校へ福祉協力校として活動費を助成しました。

助成額	南小学校	６４，０００円	（前年度同額）
	東小学校	４３，０００円	（前年度同額）
	大河原小学校	２３，０００円	（前年度同額）

法外援護費の支給事業　　実績なし

（事業区分：本会の独自事業）

旅行中に旅費を使い果たした、または紛失した等の理由により、村外への移動が困難な方に対して旅費の一部を支給します。
前年度も実績はありませんでした。

火災見舞品の贈呈事業　　実績なし

（事業区分：本会の独自事業）

火災に遭われた方に火災見舞品を贈ります。
前年度は１件の実績がありました。

自動販売機の設置運営事業　７ヶ所　手数料収入１４３万円

（事業区分：本会の独自事業）

人々の便宜と福祉財源のために、自動販売機を設置し運営しています。

特に、ビューポイントである中野観光トイレでは、環境に配慮した色彩の自販機を設置しました。

【手数料収入】　　１，４３４，０２３円
（前年度）　１，２１６，７７８円）

【設置場所】

①ふれあいグリーンパーク　②多目的屋内運動場　③中野観光トイレ
④赤城原観光トイレ　⑤岩本駅　⑥ふれあい館　⑦松の木観光トイレ

福祉まつりの開催（村との共催）

（事業区分：本会 ＋ 昭和村）

福祉まつりは、毎年、昭和の秋祭りと同時開催しています。

■　平成２５年１０月６日（日）
◆福祉バザー　◆福祉団体・施設の出店
◆赤い羽根募金運動・薬物乱用防止啓発活動
◆大広間のフラダンス・演奏・江戸芸かっぽれ

【協力団体】

- 民生委員児童委員協議会
- 星夜の森学舎
- フラダンスハノハノ
- ボランティア協議会
- 手をつなぐ親の会
- 更生保護女性会
- たけのこ学園
- 江戸芸かっぽれ
- 横浜市消防音楽隊
- 老人クラブ連合会
- 母子会

ふれあいいきいきサロン活動の推進　　２８所　３３万円

（事業区分：本会の独自事業）

小地域を対象にひとり暮らし高齢者や家に閉じこもりがちな方々が、仲間づくりや生きがいづくりに気軽に出かけられるサロン活動を推進するとともに、必要な活動費助成をしました。

■助　成　額　　２８カ所　　３３０，０００円
（前年度）　２７カ所　３３５，０００円
■福祉委員委嘱　　２８人委嘱（前年度　６７人）

ボランティア活動の推進

（事業区分：本会の独自事業）

昭和村ボランティア協議会事務局としての活動支援・活動費の助成、ボランティア活動保険の加入促進・助成に取り組みました。。

■ボランティア協議会
【活動費の助成】　１８０，０００円（前年度同額）
【主な活動】
①ボランティア手作り弁当　１０回　延べ５７７食
（前年度　１０回　５７７食）
*７５歳以上ひとり暮らし高齢者が対象。
②年始特別配食サービス事業延べ　６０食（前年度　６０食）
③村内環境美化（花植え、ゴミ拾い等）

各種団体の活動支援並びに助成

本会では、村内の地域福祉や高齢者の生き甲斐対策、高齢者対策として、次のような各種団体の事務局を担当しています。

なお、役場からは、これら団体事務人件費として、「福祉団体支援事務業務」を受託しています。

＊平成２５年度委託費　　４２０万円（人件費相当）

団　　体　　名	主　な　活　動
1　昭和村シルバー人材センター ＊会長は、昭和村社協会長	除草作業、清掃作業、工場作業、剪定作業、草刈り作業
2　昭和村老人クラブ連合会	スポーツ大会（村）、輪投げ大会（村・郡）、 囲碁・将棋大会（郡・県）、グラウンドゴルフ大会（郡） ゲートボール大会（村・郡）、役員研修会、一円玉募金
3　昭和村ボランティア協議会	ゴミ拾い・草刈り作業、手作り弁当・おせち料理、 高齢者ふれあい交流会、福祉バザー、友愛訪問、研修会
4　昭和村母子会	奉仕作業、交流事業、親子ふれあい交流事業（一泊）、 県母子家庭寡婦福祉県民大会
5　昭和村身体障がい者の会	グラウンドゴルフ大会（郡）、カラオケ交流会（県）、 スポーツ大会（郡・県）、温泉保養事業（村・郡）

団　　体　　名	主　な　活　動
6　昭和村手をつなぐ親の会	奉仕作業、福祉バザー、親睦会、交流事業、福祉セミナー
7　昭和村傷痍軍人会	刊行物の配布 ※上部組織の解散により、平成２５年度中に解散
8　昭和村更生保護女性会	社会を明るくする運動、薬物乱用防止活動、 視察研修会（日帰り：毎年１回、宿泊：２年に１回）
9　昭和村遺族の会	戦没者追悼式（全国、県、村）、護国神社例大祭参列、 靖国神社参拝（２年に１回）
10　昭和村共同募金会 ＊会長は、昭和村長	配分申請受付業務、赤い羽根募金運動、 歳末たすけあい募金運動

福祉育成援助活動

（事業区分：本会の独自事業）

村内外の小中学校等の体験学習をはじめ、訪問介護員等養成研修における現場実習、同行訪問を受け入れます。

また、村内小学校に福祉協力校として福祉活動費助成をします。

■福祉体験学習

・　６月１３日（木）薄根中学校　　５名

・１１月　１日（金）大河原小学校　　２名派遣

■福祉ボランティア体験

・　８月　５日（月）昭和中学校　　１０名

・　８月　６日（火）昭和中学校　　７名

■昭和中チャレンジウィーク

・１１月１１日（月）～１５日（金）　５日間
　昭和中学校　４名

■職場体験

・　９月２６日（木）～２７日（金）　２日間
　尾瀬高等学校　１名

■産業現場等における実習

・　５月２０日（月）～３１日（金）１０日間
　榛名養護学校　１名

■高齢者疑似体験装具の貸し出し

加齢に伴う心身の変化を疑似的に体験し、その不自由さを身をもって経験することができる装具の貸し出しをします。

本年度は実績はありませんでした。

低所得者世帯等への生活指導並びに資金援助

（事業区分：県社協からの受託事業及び本会の独自事業）

■生活福祉資金貸付事業（県社協からの受託事業）

生活基盤の確保と生活保護世帯の以降を防止するため、生活援助や貸し付け援助を行いました。

３月末現在利用者数　０名　（前年度　３名）

■日常生活自立支援事業利用料助成（独自事業）

低所得者の日常生活自立支援事業の利用料を助成しました。

３月末現在利用者数　１名　（前年度　１名）

■介護保険利用者負担減免措置（独自事業）

低所得者に対し、社協が運営する介護保険居宅サービスの利用料を減免しました。

３月末現在利用者数　２名　（前年度　３名）

■障害福祉サービス利用者負担減免措置（独自事業）

低所得者に対し、社協が運営する障害福祉サービスの利用料を減免しました。

実績なし（前年度実績なし）

見守りネットワークの推進事業

（事業区分：本会の独自事業）

村や協力事業所と連携をし、認知症高齢者の方とその家族が地域で安心して暮らせるよう、日常の見守りと緊急時のネットワークを推進します。

６ 学童保育部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「児童や家庭に対し分け隔てなく保育を行い、豊かな愛情を持って接し児童の健全育成に努めます。」

学童保育クラブの運営

＊延べ児童数　１８，１８１人
＊利用料＆受託収入　２，４２３万円

（事業区分： 昭和村からの指定管理者事業）

本会では、昭和村から昭和村学童保育クラブの指定管理を受けて、放課後の留守家庭児を対象に健康管理、健全な遊びの指導等を行っています。

①東学童クラブ
②南学童クラブ
③大河原学童クラブ
の３施設の運営を行っています。

＊利用料：日額１,０００円
通年利用は月額１０,０００円が上限
＊ひとり親家庭や２人目以降の利用は減額があります。
＊夏休み等の長期休日や年末年始（１２月２８日・１月４日）の受け入れも行っています。

【職員配置】

クラブ名	主務指導員	補助指導員	登録指導員
東学童クラブ	１人	３人	１人
南学童クラブ	１人	３人	１人
大河原学童クラブ	１人	０人	１人
計	３人	６人	３人

【２５年度実績】

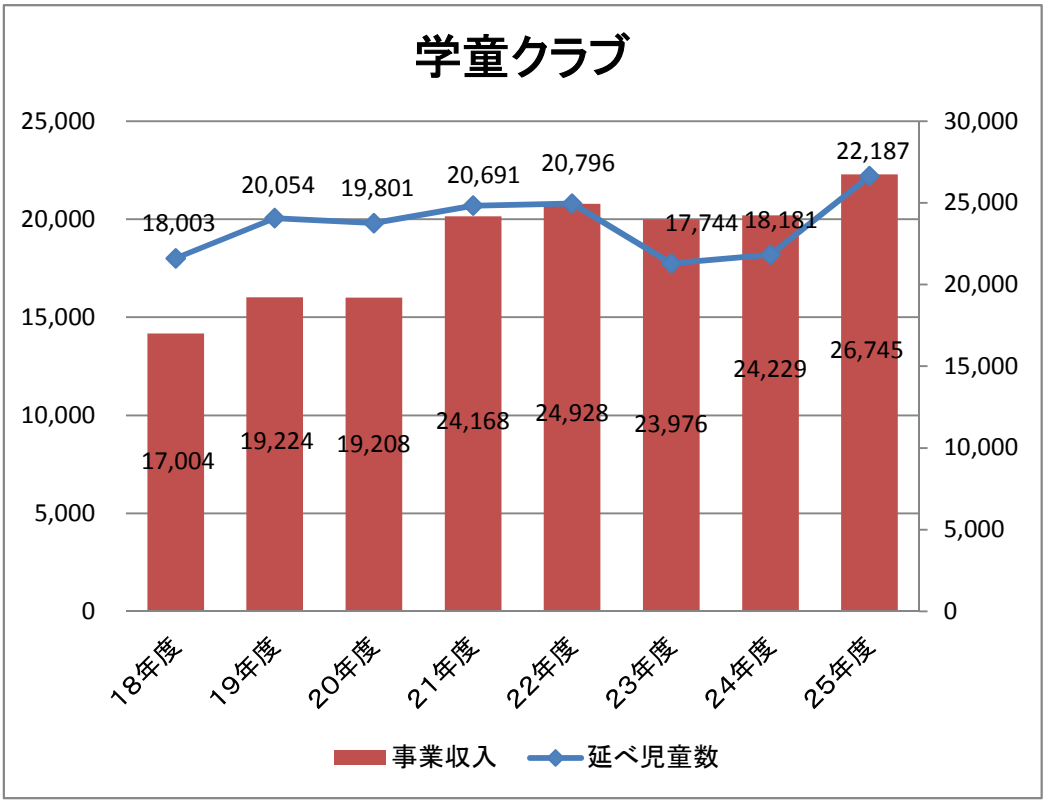
クラブ名	延　べ　児　童　数	１日平均児童数
東学童クラブ	７，５５４人（前年度　７，２２３人）	２６．３人
南学童クラブ	９，６７１人（前年度　８，５３０人）	３３．７人
大河原学童クラブ	４，９６２人（前年度　２，４２８人）	１７．７人
計	２２，１８７人（前年度１８，１８１人）	６３．１人

学童クラブ

【利用者と事業収入の推移】

年　度	延べ児童数	事業収入
平成18年度	18，003人	17，003，900円
平成19年度	20，054人	19，224，400円
平成20年度	19，801人	19，208，400円
平成21年度	20691人	24，168，300円
平成22年度	20796人	24，927，900円
平成23年度	17，744人	23，975，500円
平成24年度	18，181人	24，228，500円
平成25年度	22，187人	26，745，300円

【推移グラフ】



7　福祉センター昭和の湯部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「利用者の意見や社会変化に合わせて柔軟で迅速な対応を行い、皆に愛される施設を目指します。」

昭和の湯の運営　　入館者 98,308人　事業収入 3,298万円

（事業区分：村からの指定管理者事業）

本会では、昭和村より昭和村総合福祉センター「昭和の湯」の指定管理をうけて、管理運営を行っています。

【利用者と事業収入の推移】

年　　度	延べ利用者数	事業収入
平成１８年度	９２，６３０人	３４，４３０，０５１円
平成１９年度	９１，４７２人	３３，８９０，０５１円
平成２０年度	９８，１４９人	３３，４６９，４６３円
平成２１年度	９９，０８４人	３４，７４２，２７１円
平成２２年度	９９，６９４人	３３，２９０，８４６円
平成２３年度	１０２，９９９人	３５，３１８，３７３円
平成２４年度	９７，０２９人	３４，１７８，２４３円
平成２５年度	９８，３０８人	３２，９８４，３０１円

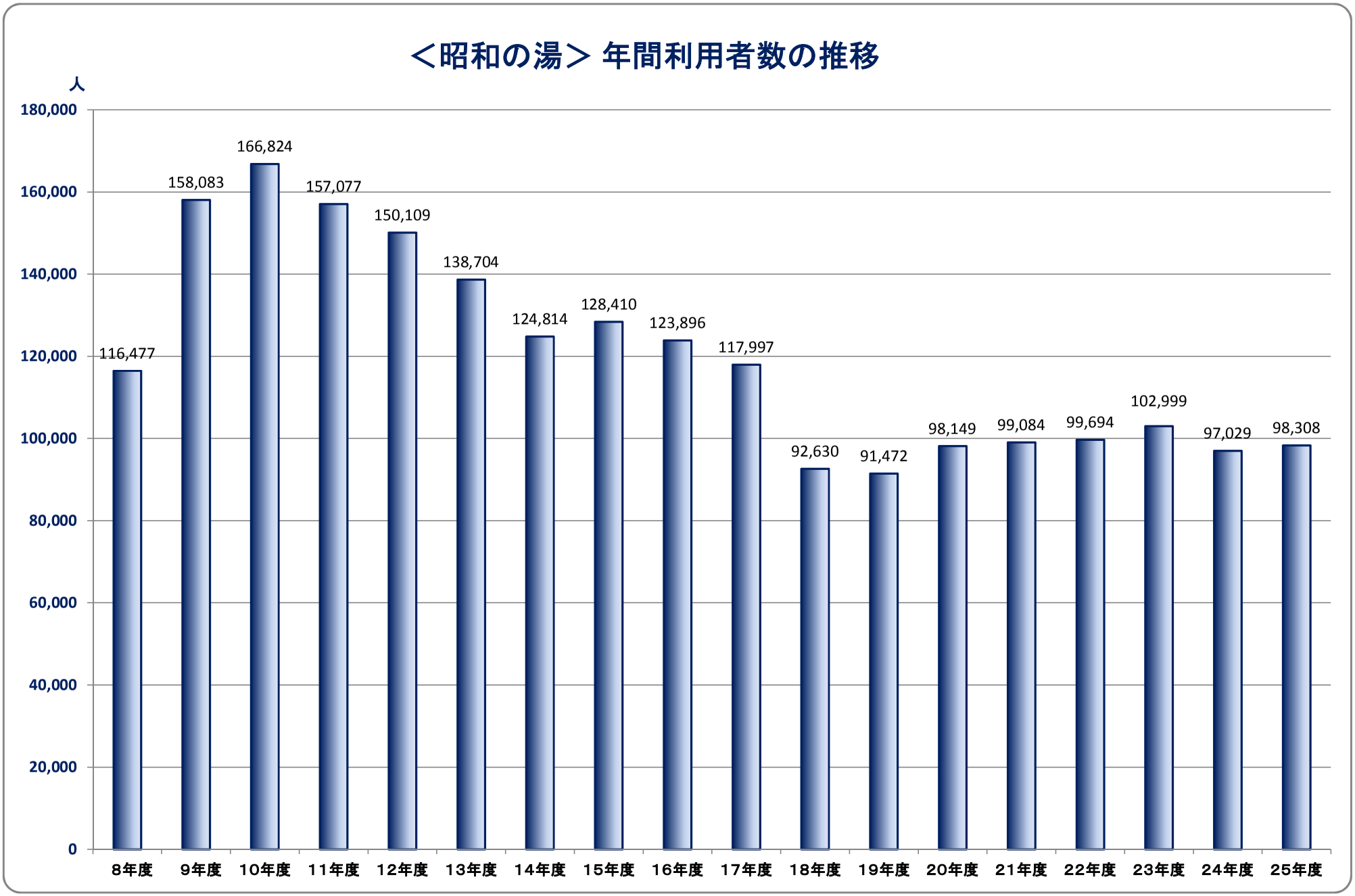
＊過去の推移につき、別紙グラフを参照してください。

温泉でリフレッシュ事業　　延べ利用者　１，５７９人

（事業区分：本会独自の事業）

概ね６５歳以上の高齢者を対象に、温泉センターまでの送迎を行い、温泉の利用と地域との交流を支援した。

■延べ利用者数　　１，５７９人
（前年度　１，７１６人）


＜昭和の湯＞ 年間利用者数の推移
人
180,000
160,000
140,000
120,000
100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0
116,477
158,083
166,824
157,077
150,109
138,704
124,814
128,410
123,896
117,997
92,630
91,472
98,149
99,084
99,694
102,999
97,029
98,308
8年度
9年度
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度
15年度
16年度
17年度
18年度
19年度
20年度
21年度
22年度
23年度
24年度
25年度

８　介護保険部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「法令所遵守しながら、要介護者・要支援者及びご家族の方々との信頼関係を大切にして利用者ここのニーズに適切に対応したサービス提供を目指します。」

居宅介護支援事業　　＊利用人員　１，４４８人
＊事業収入　１，８７０万円

（事業区分：本会独自の事業 ＋ 昭和村からの受託事業）

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「利用者及びご家族の要望を確認したうえで、専門職として個々のニーズと要望に応えられるプランの提案を目指します。」

要介護者又は要支援者や家族の要望をもとに、在宅での介護を支援しています。
具体的には、次のような業務を行っています。

■　**認定申請代行**
要介護認定（更新も含む）の申請の代行をします。

■　**ケアプランの作成**
利用者及びご家族の要望やニーズに合わせたプランを作成します。

■　**サービス事業者との連絡調整**
サービス事業者との連絡調整及びサービス利用状況の確認を行います。

【業務体制】

■　専従職員　３人　　兼務職員　１人

【２５年度実績】

■　２５年度実績は次のとおりです。
なお、１か月の介護利用者平均数は、９９．３人でした。

事業名	延べ利用者数	事　業　収　入
介護事業	１，１９２人	１７，６１８，５００円
予防事業	２５０人	１，０７８，７２０円
計	１，４４２人	１８，６９７，２２０円

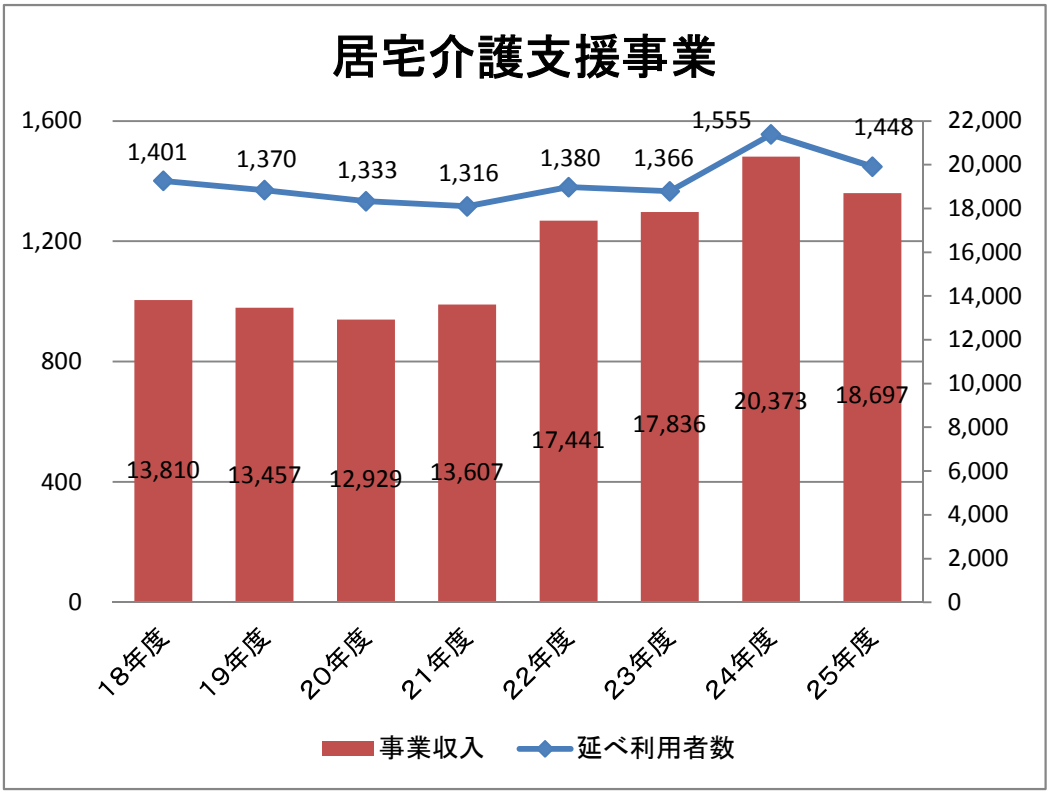
居宅介護支援事業

【利用者と事業収入の推移】

■　平成２２年５月から、特定事業所加算を取得したことにより、事業収入が大幅に増加しました。

年　度	延べ利用者数	事業収入
平成18年度	1，401人	13，810，000円
平成19年度	1，370人	13，456，500円
平成20年度	1，333人	12，928，500円
平成21年度	1，316人	13，606，940円
平成22年度	1，380人	17，441，440円
平成23年度	1，366人	17，835，500円
平成24年度	1，555人	20，373，000円
平成25年度	1，448人	18，697，220円

【推移グラフ】



訪問介護事業　　＊訪問回数　３，６５４回
＊事業収入　９２１万円

（事業区分：本会独自の事業）

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「居宅にて安心安全に活動できる環境づくりと利用者及びご家族のプライバシーにも留意しながら、信頼されるサービス提供を目指します。」

ホームヘルパーが要介護者及び要支援者の自宅に伺い、生活援助や身体介護、通院介助等を行います。

＊　通院介助は要介護者のみ行っています。
＊　利用料は介護保険法の１割負担です。
　また、通院介助は別途交通費（片道４００円）が必要です。

【業務体制】

①常勤職員　　３人
　＊うち、正規職員　１人
　　臨時職員　２人
②非常勤（登録）職員　２人

【２５年度実績】

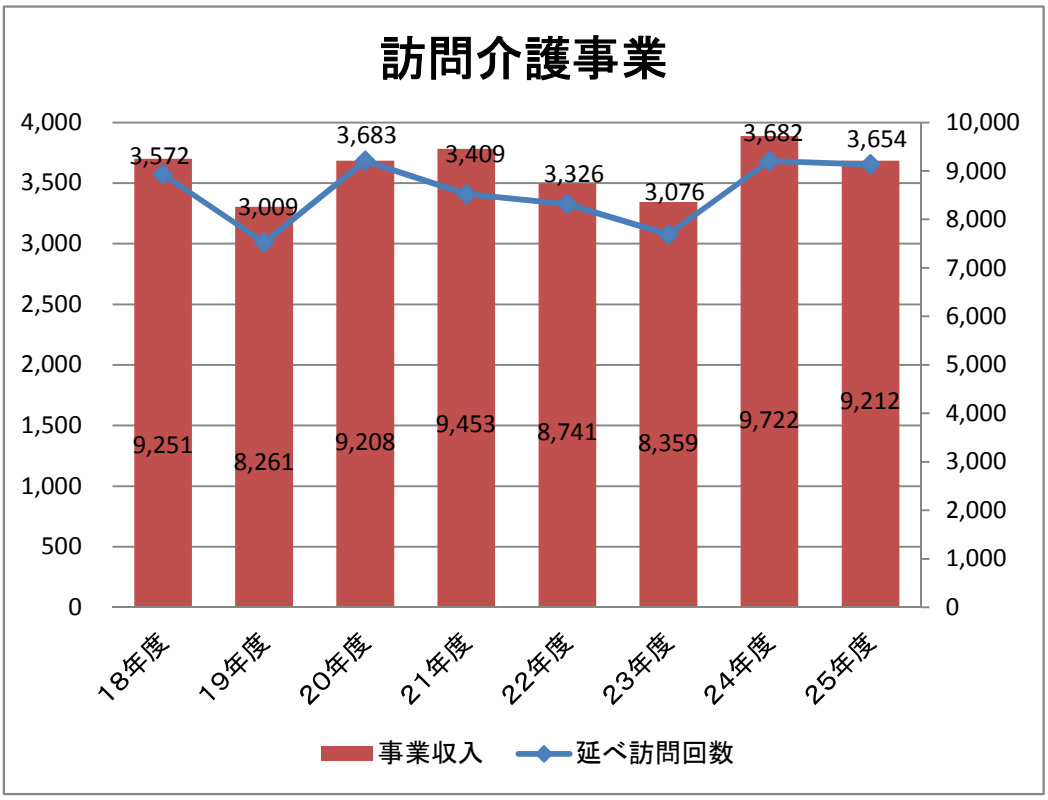
事業名	延べ利用者	訪問回数	事　業　収　入
介護訪問介護	２７２人	３，１５２回	７，６９６，８７７円
予防訪問介護	８９人	５０２回	１，５１４，９７１円
計	３６１人	３，６５４回	９，２１１，８４８円

訪問介護事業

【訪問回数と事業収入の推移】

年　度	延べ訪問回数	事業収入
平成18年度	3，572回	9，251，168円
平成19年度	3，009回	8，261，201円
平成20年度	3，683回	9，207，698円
平成21年度	3，409回	9，453，430円
平成22年度	3，326回	8，740，580円
平成23年度	3，076回	8，358，640円
平成24年度	3，682回	9，722，236円
平成25年度	3，654回	9，211，848円

【推移グラフ】



通所介護事業（デイサービス）　＊利用者数　７，４４７人
＊事業収入　６，０２９万円

（事業区分：本会独自の事業）

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「利用者の個別化を意識しながら、個々のニーズや要望に応えられるサービス提供を目指します。」

昭和村の通所介護施設「昭和の里」において、送迎、通所により、機能訓練（リハビリ）や健康チェック、レクリエーション、入浴、食事介助などの介護サービスを行い、１日を過ごしていただきます。

また、外出行事や季節ごとの行事も実施しています。

＊「昭和の里」の定員は、３５名です。

＊　利用料は、介護保険法により１割負担となっています。

＊　食費は、１食５００円です。

【業務体制】（平成２６年３月現在）

■
- ・生活相談員　４人（うち、専任２人、兼務２人）
- ・看護職員　３人
- ・介護職員　９人（うち、専任２人、兼務７人）
- ・調理職員　４人（うち、専任２人、兼務２人）

事業名	実利用者	延べ利用者	事　業　収　入
通所介護事業	６６９人 （前年８０９人）	６，９３８人 （前年７，９９３人）	５７，０３３，０９２円 （前年６６，９８４，２６８円）
介護予防通所	８２人 （前年　９３人）	５０９人 （前年　５１５人）	３，２５３，１７０円 （前年３，６６４，１５０円）
計	７５１人 （前年９０１人）	７，４４７人 （前年８，５０８人）	６０，２８６，２６２円 （前年７０，６４８，４１８円）

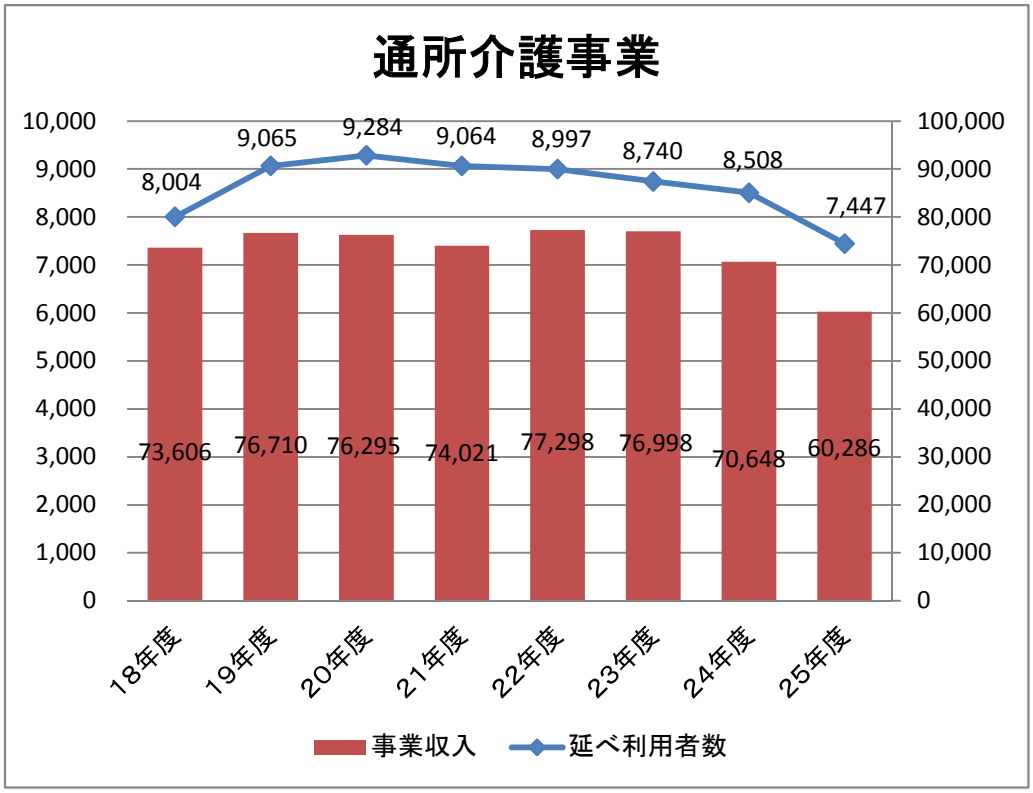
年間営業日数	一日平均利用者数
３０６日 （前年　３０７日）	２４．３人 （前年　２７．７人）

通所介護事業

【利用者数と事業収入の推移】

年　度	延べ利用者数	事業収入
平成18年度	8，004人	73，606，166円
平成19年度	9，065人	76，710，487円
平成20年度	9，284人	76，295，483円
平成21年度	9，064人	74，021，326円
平成22年度	8，997人	77，297，620円
平成23年度	8，740人	76，998，000円
平成24年度	8，508人	70，648，418円
平成25年度	7，447人	60，286，262円

【推移グラフ】



訪問入浴介護事業　　＊利用回数　４１回
＊事業収入　５２万円

（事業区分：本会独自の事業）

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「利用者個々のニーズに柔軟に対応できるサービス提供を目指します。」

訪問入浴車で、看護職員、介護職員がご自宅に伺います。寝たきりの方、入浴が困難な方等の要介護者の入浴介助をします。昭和の湯源泉を運んでの入浴もできます。

＊利用料：利用料は介護保険法の１割負担です。

【業務体制】

■　看護職員１名＋介護職員２名体制でお伺いし、入浴のお手伝いをいたします。

【２５年度実績】

■　平成２６年３月現在、お一人の利用者による回数となっています。

実利用者数	延べ利用回数	事　業　収　入
１３人 （前年　１６人）	４１回 （前年　５８回）	５２１，７６０円 （前年７３８，１００円）

【利用回数と事業収入の推移】

■　次のとおりです。

年　　度	延べ利用回数	事　業　収　入
平成１８年度	４９回	９３３，７８０円
平成１９年度	５１回	６３７，５００円
平成２０年度	９８回	１，２２５，０００円
平成２１年度	５３回	６６２，５００円
平成２２年度	５３回	６６２，５００円
平成２３年度	６０回	７５０，０００円
平成２４年度	５８回	７３８，１００円
平成２５年度	４１回	５２１，７６０円

９ 障害福祉サービス部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「利用者個々のニーズを的確に把握し、そのニーズに合わせたサービス提供を目指します。」

居宅介護事業及び重度訪問介護事業　　延べ訪問回数　７８７回

（事業区分：本会の独自事業）

障害者や障害児を対象に、ホームヘルパーが自宅を訪問し、身体介護、生活援助、通院介助及び生活相談等を行いました。
利用料：利用料は障害者自立支援法による負担です。
通院介助は別途交通費（片道４００円）が必要です。

①居宅介護事業　延べ訪問回数　７８７回
（前年度　７２６回）
１ヶ月平均利用者数　５．３人（前年度　６．４人）
事業収入　１，５１８，９２０円（前年度　１，７４２，５７０円）

②重度訪問介護事業　実績ありません。（前年度もなし）

移動支援事業　　延べ訪問回数　４０回

（事業区分：村の受託事業）

障害者や障害児を対象に、ホームヘルパーが自宅を訪問し、病院等への移動を支援しました。
＊利用料　片道　４００円
村要綱による金額

◆　延べ訪問回数　６３回（前年度　４０回）
１ヶ月平均利用者数　２．６人
（前年度　１．９人）
事業収入　１，００，７００円（前年度　１１９，６００円）

１０ 在宅福祉サービス部門

基本目標（平成２５年度に設定しました）
「関係機関との連携を密にしながら、社会福祉協議会として地域住民に信頼されるサービス提供を目指します。」

介護者の集いの開催　　２回　３７人参加

（事業区分：村からの受託事業）

在宅で介護を続けている家族の方を対象に、介護者の慰安もかねて情報交換会を年２回行いました。

■　①平成２５年１０月　２日　１９人
　　②平成２６年　３月１４日　１８人
＊参加者合計　　３７人(前年度　５１人)

おむつ給付事業　　２回実施　延べ１２７人

（事業区分：本会の独自事業）

・村内に居住する概ね６５歳以上の高齢者及び障がい者(児)で常時オムツを使用している方に年２回（６月・１２月）オムツを給付します。
＊延べ利用者数：１２７人（前年度　１３５人）

介護用品支給事業　　３３人

（事業区分：村からの受託事業）

・村内に居住する概ね６５歳以上で要介護４・５の方、認知症高齢者・重度身体障がい者等で寝たきり状態、失禁状態にある方、また療育手帳Ａを持っていて失禁状態にある方に年間７万５千円を限度にオムツを給付します。
＊延べ利用者数：３３人（前年度　３１人）

食の生活自立支援事業　　延べ配食数　１，３７６食

（事業区分：村からの受託事業）

村内に居住する概ね６５歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯を対象に原則週２回お弁当を配達し栄養面の管理と併せ安否の確認をします。

＊利用料：１食２００円

＊延べ配食数：１，３７６食（前年度）１，３７５食）

福祉用具･福祉車両の貸し出し　　延べ利用者数４６人

（事業区分：本会の独自事業）

要介護者や障害者の方がの自立生活の助長と本人並びに介護者の負担軽減を図るために、車椅子やベッド、車いす等のまま乗り降りできる福祉車両等を貸し出します。

【福祉用具】　延べ利用者数　２８人　（前年度　２２人）
【福祉車両】　延べ利用者数　１８人　（前年度　３０人）

緊急通報装置設置支援事業　　過去４年実績なし

（事業区分：本会の独自事業）

村が行う緊急通報装置の設置支援の対象とならない二人暮らし老人世帯や障がい者の方など緊急通報装置が必要な世帯へ設置の支援ををします。

＊　設置工事費は全額社協で負担、毎月の使用料は利用者負担

寝具洗濯乾燥消毒サービス事業　　過去４年実績なし

（事業区分：本会の独自事業）

・在宅の寝たきり高齢者や心身の障がい及び疾病等の理由により寝具の衛生管理が困難な方々を対象に社協が利用料の半分を負担し年２回寝具の洗濯乾燥サービスを提供します。

※生活保護世帯・住民税非課税世帯は無料

生活支援型訪問家事援助事業　　延べ訪問回数　１４２回

（事業区分：昭和村からの受託事業）

在宅で日常生活を営むに支障がある高齢者に対して、適切な生活援助を行うことを目的としています。

＊対象者　　概ね６５歳以上の在宅虚弱高齢者等

＊利用料　　基本１回１時間　１５０円

＊延べ訪問回数　１４２回（前年度　１７５回）

地域支援介護予防通所事業　　延べ利用者数　３９５人

（事業区分：昭和村からの受託事業）

要介護認定が「非該当」の人を対象とする介護予防サービス事業で、市町村が運営主体となって支援します。

「ふれあい館」において、おおむね６５歳以上の在宅虚弱高齢者等に対し、日常動作訓練や生活相談などのサービスを行いました。

＊　利用料：１回　1,０００円

（基本４００円、送迎１００円、食費５００円）

＊延べ利用者数　３９５人（前年度　５１４人）

ケア輸送サービス　　延べ輸送回数　１４９回

（事業区分：本会の独自事業）

一般の公共交通機関を単独で利用困難な方々を対象に、介護職員が事業用自動車により安心安全な移動サービスを行った。

＊利用料　３０分　２，４９０円

（村からの助成対象者は、２５０円）

＊延べ輸送回数　１４９ 回　（前年度　１９０回）

社会福祉法人
昭和村社会福祉協議会